

今日のトピック 最近の指標から見る欧州経済（2016年9月）

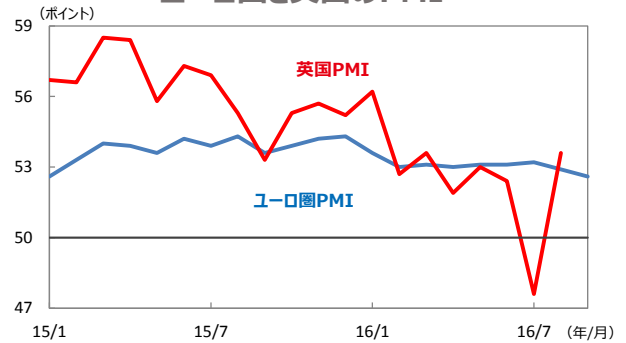
## 「Brexit」の影響は今のところ軽微

### ポイント1 ユーロ圏PMIは低下

#### 英国PMIは大幅改善

- 9月のユーロ圏PMI（総合）は52.6となり、前月（52.9）を下回りました。好悪の境目とされる50を引続き上回っているものの、20カ月ぶりの低水準となりました。業種別にみると、製造業が52.6と、前月（51.7）を上回ったものの、サービス業が52.1と、前月（52.8）比で低下しました。
- 一方、8月の英国のPMI（総合）は53.6となり、前月（47.6）から急回復しました。8月の改善理由としては、新政権の発足や英中央銀行の金融緩和実施で不確実性がやや低下したこと、ポンド安や観光業の改善などが挙げられます。

ユーロ圏と英国のPMI

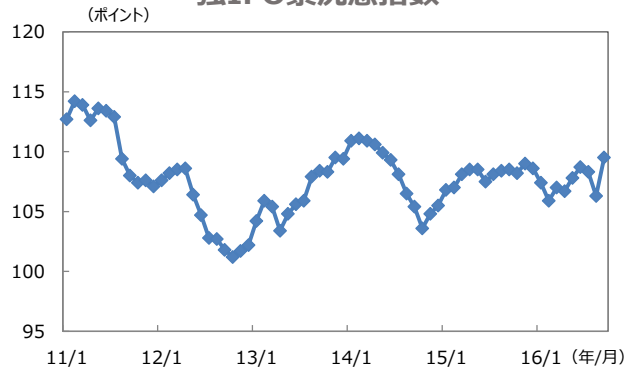


(注) データ期間は2015年1月～2016年9月。英国PMIは2016年8月まで。  
(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 独IFO景況感指数は改善 ドイツの景気拡大を示唆

- ドイツのIFO経済研究所が発表した9月の独IFO業況指数は109.5となり、市場予想（106.3、ブルームバーグ）を上回りました。業況指数は2014年6月以来の水準に上昇しました。今後6カ月の業況感を示す期待指数も上昇しており、ドイツ景気の拡大が当面続くことを示唆しています。

独IFO景況感指数



(注) データ期間は2011年1月～2016年9月。  
(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 景気拡大は年末にかけて続く見通し

- ユーロ圏では、英国のEU離脱（「Brexit」）選択による実体経済への悪影響が懸念されていますが、これまでの経済指標を見る限り、影響は限定的のようです。IFO期待指数やユーロ圏PMI（製造業）からすると、生産は年末にかけて持ち直すと見られます。また、消費者センチメントが安定していることを踏まえると、サービス業の経済活動も引き続き底堅く推移すると考えられます。このため10-12月のユーロ圏の成長率は7-9月からやや高まると見られます。

ここもチェック! 2016年9月16日 BOEの金融政策（2016年9月）  
2016年9月 9日 ECBの金融政策（2016年9月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。